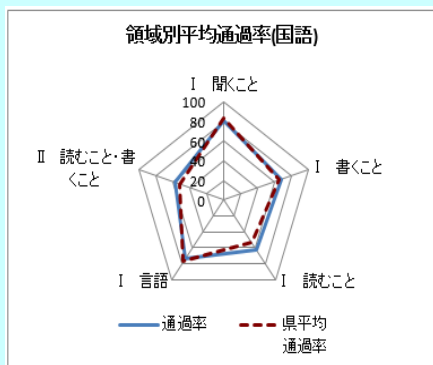
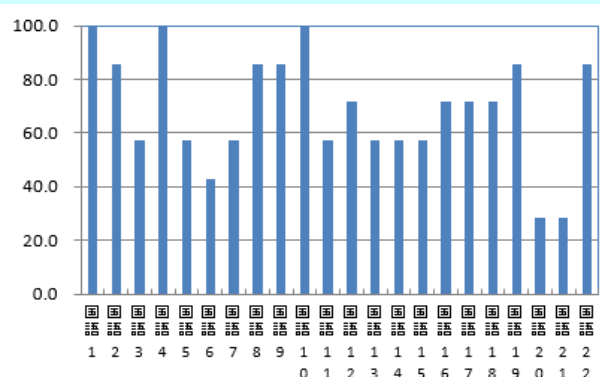


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 68.8%, 県 68.0%)

領域別平均通過率



設問1の平均通過率



本年度の結果について

○タイプⅠの通過率は71.4%であった。「聞くこと」は80.9%、「書くこと」は67.8%、「読むこと」は61.9%、「言語」は73.2%であった。タイプⅡの「読むこと・書くこと」は57.1%であった。県平均と比較すると、基礎的・基本的な内容はほぼ定着していると考えられる。また、活用については県平均を上回っているが、情報の取り出しや関連付けた記述には課題がある。

重点課題

【課題1】

○目的や必要に応じて情報を取り出し、それらに関係付けて書くことに課題があった。(通過率 28.6%)

【課題2】

○ローマ字で表記されたもの(地名)を読むことに課題があった。(通過率 42.9%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】

- 絵や写真、図表やグラフなどから必要な情報を取り出す学習に取り組む。
- 文章と図表やグラフなどを関連付けて自分の考えをまとめる学習を仕組む。

【課題2】

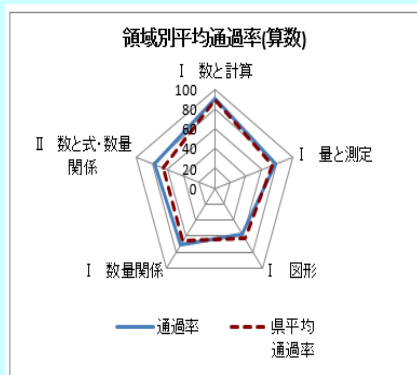
- 日常的にローマ字を読んだり書いたりする活動を仕組む。(連絡帳など)

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5・6年生 H28「基礎・基本」	庄原市標準学力調査	4・5年生 H29「基礎・基本」	
目標値				70%	70%	70%	
実施後数値							

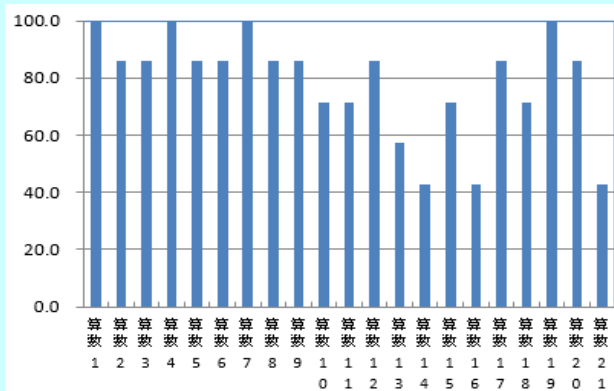
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5・6年生 H28「基礎・基本」	庄原市標準学力調査	4・5年生 H29「基礎・基本」	
目標値				70%	70%	70%	
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 78.2%, 県 74.3%)

領域別平均通過率



設問1の平均通過率



本年度の結果について

○タイプⅠの通過率は78.6%であった。「数と計算」が89.8%、「量と測定」が78.5%、「図形」が57.1%、「数量関係」は71.4%であった。タイプⅡ「数と計算・数量関係」の通過率は77.1%であった。
 県平均と比較すると、タイプⅠ・Ⅱともに県平均を上回り、基礎・基本の力はほぼ定着していると考えられる。しかし、図形領域の通過率は県平均を6%下回っている。

重点課題

【課題1】

○作図に用いられている図形の約束や性質の理解について課題があった。(通過率 42.9%)

【課題2】

○ () を用いて1つの式に表すことについて課題があった。(通過率 42.9%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

- 図形の定義や性質を理解させる。
- 作図の方法と図形の定義や性質について関連付けた指導を行う。
- 条件付きの問題から図形を作図させる。
- 身の回りにある図形に目を向けさせるなど、図形についての感覚を豊かにする。

【課題2】

- 式の意味を考え、自分の言葉で説明する活動を仕組む。
- 図や言葉などを使いながら、式の意味を捉えさせる。

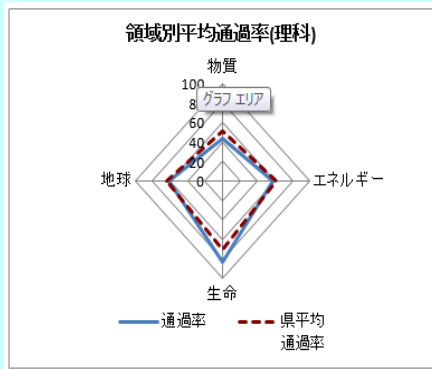
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5・6年生 H28「基礎・基本」	庄原市標準学力調査	4・5年生 H29「基礎・基本」	
目標値				70%	70%	70%	
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5・6年生 H28「基礎・基本」	庄原市標準学力調査	4・5年生 H29「基礎・基本」	
目標値				70%	70%	70%	
実施後数値							

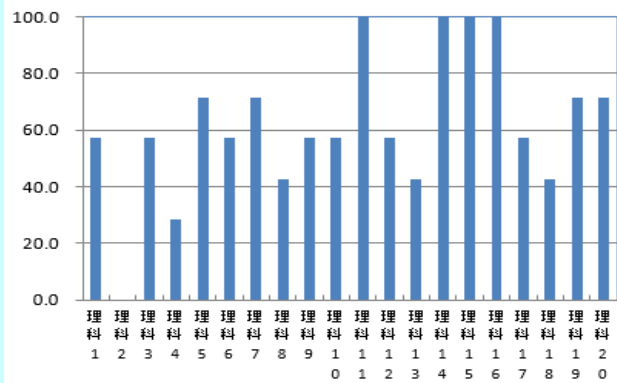
指導方法等の改善計画について [理科]

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 62.1%, 県 61.7%)

領域別平均通過率



設問1の平均通過率



本年度の結果について

○タイプⅠの通過率は70.1%で、「物質」が64.2%、「エネルギー」が57.1%、「生命」が85.7%、「地球」が64.2%であった。タイプⅡの通過率は52.4%で、「物質」は28.5%、「エネルギー」は57.1%、「生命」は78.5%、「地球」は57.5%であった。
 県平均と比較すると、タイプⅠは0.3%下回っているが、タイプⅡは1.4%上回っていた。基礎的・基本的な力はほぼ定着していると考えられる。

重点課題

【課題1】

○空気てっぼうの前玉が飛ぶ理由を検証する実験道具を選択することについて課題があった。
 (通過率0%)

【課題2】

○予想が正しかった時の結果がどのようになるか考えることについて課題があった。
 (通過率28.6%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

○実験を行う際には「何を思いどように行う」のか、実験方法を考えさせる。
 ○実験に必要な道具を自分たちで考えさせ、全体で検討し準備させる。

【課題2】

○実験方法を確認した後に、結果を予想し、その理由を答えさせる。
 ○実験結果から考察するとき、必ず理由を明確にするように指導する。

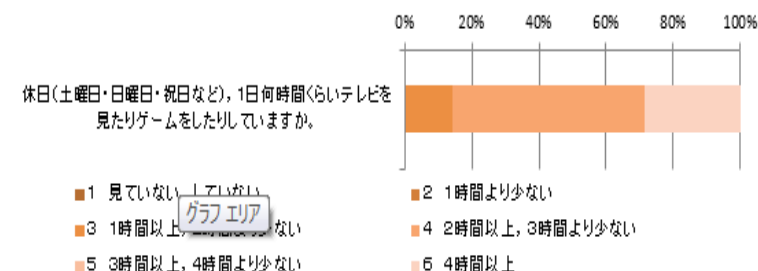
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5・6年生 H28「基礎・基本」	庄原市標準学力調査	4・5年生 H29「基礎・基本」	
目標値				70%	70%	70%	
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5・6年生 H28「基礎・基本」	庄原市標準学力調査	4・5年生 H29「基礎・基本」	
目標値				70%	70%	70%	
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

（1）生活・学習

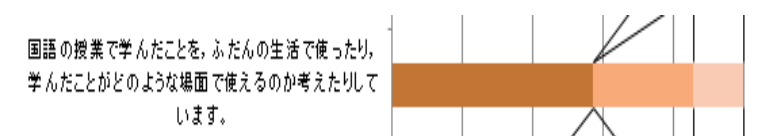
休日（土曜日・日曜日・祝日など）、1日何時間くらいテレビを見たりゲームをしたりしていますか。



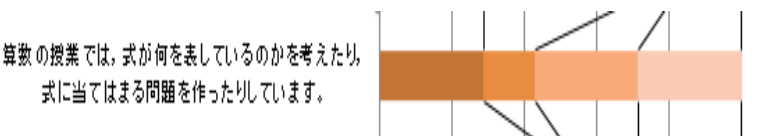
児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
○「休日（土曜日・日曜日・祝日など）、1日何時間くらいテレビを見たりゲームをしたりしていますか。」の項目では、「2時間以上」と回答した児童の合計が85.7%であった。	○アウトメディアの取組を継続するとともに、休日の過ごし方について保護者と連携して取り組む。	全学年	2時間未満と回答する児童を50%以上にする。	児童アンケート	2学期末		

（2）教科

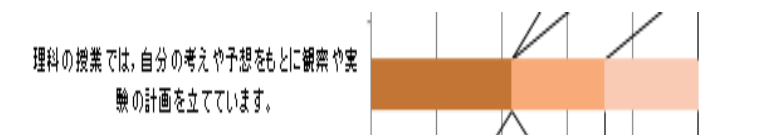
国語の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。



算数の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式に当てはまる問題を作ったりしています。



理科の授業では、自分の考えや予想をもとに観察や実験の計画を立てています。



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	○「国語の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています」の項目では、「よく当てはまる、やや当てはまる」と回答した児童が57.1%であった。	○国語科の授業の単元末において学習したことを生かせる活動を仕組む。（依頼文、インタビュー、討論等）	五・六年	肯定的な回答を60%以上にする。	児童アンケート	2学期末		
算数	○「算数の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式に当てはまる問題を作ったりしています」の項目では、「よく当てはまる、やや当てはまる」と回答した児童が42.9%であった。	○算数の授業において、式の意味を考えさせるために、問題文と式を対応させながら説明させる。また、単元末などに式から問題を作る活動に取り組む。	二・三・四・五・六年	肯定的な回答を70%以上にする。	児童アンケート	2学期末		
理科	○「理科の授業では、自分の考えや予想をもとに観察や実験の計画を立てています」の項目では「よく当てはまる、やや当てはまる」と回答した児童が42.9%であった。	○理科の授業において、観察や実験の前に予想を立てさせ、観察や実験の方法を考えさせる時間を十分にとるようにする。	三・四・五・六年	肯定的な回答を80%以上にする。	児童アンケート	2学期末		